

# 野あそび匠塾

**趣旨** 地域で活躍する各業種の匠が指導者となり、体験活動をととして地域の特色や自然への理解を深め、さらに環境教育等の視点も取り入れ、持続可能な社会を担う一員としてのきっかけづくりを行う。

## 企画運営のポイント

匠から自然体験活動の体験や技術を学び、活動後も子どもが興味関心を高め、自主的に体験を行えるよう子ども達の意欲や自発的な行動を大切にしよう運営にあたった。

### 「釣り塾」

① 7月25日(土)：9名 ② 7月26日(日)：9名

### 「虫塾」

③ 8月15日(土)：5名 ④ 8月16日(日)：3名

### 「川塾」

⑤ 8月22日(土)：5名 ⑥ 8月23日(日)：8名

### 「火あそび塾」

⑦ 9月5日(土)：4名 ⑧ 9月6日(日)：9名

### 「稲塾」

⑨ 10月10日(土)：7名 ⑩ 10月11日(日)：9名

### 「弓塾」

⑪ 10月24日(土)：7名 ⑫ 10月25日(日)：10名

### 「雪塾」

⑬ 1月23日(土)～24日(日)：9名

### 「匠祭り」

⑭ 3月6日(土)：4名

会場：国立日高青少年自然の家

対象：小学校3年生～6年生の野あそび会員



## 【成果】

- ・匠を通して体験したことや学んだ技術は、子ども達の興味・関心、そして意欲を高める機会となり、活動後も自ら調べたり、進んで体験活動を行ったり、生活への還元する報告が聞かれた。
- ・異校、異年齢で活動を行う中で、子ども達は交流を深めることができ、新たな見方や価値観を学ぶ機会にもなった。
- ・受講者である子どもの変容を通して、保護者が体験活動の素晴らしさに気づき、家庭教育に活かされる機会が生まれた。
- ・講師との交流を通して意見交流や質問するなどの自主性が育つ場面が生まれた。

## 【課題】

- ・三密を回避する工夫をしたが、活動によっては密が生まれる場面が見られ、講師との打ち合わせの上で、子ども達の動線や密になりやすい活動での配慮等の細かな打ち合わせの必要がある。